

子どもの
未来保障

ALL釧路

平成28年度 義務教育指導班だより

～全力で子どもの未来保障を！～

ALL釧路
学力・体力向上
八策

編集・発行 釧路教育局教育支援課義務教育指導班 TEL 0154-43-9283 <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/krk/gakkyo.htm>

平成28年度釧路管内生徒指導研究協議会

今年度の釧路管内生徒指導研究協議会は、「携帯電話やインターネットをめぐるトラブルの未然防止に向けた取組」「いじめや不登校の未然防止の取組」を柱に実施しました。1日目は保護者の方にも熱心に協議していただきました。

日程 6月29日、30日
会場 釧路教育研究センター
参加者 50名

1日目 シンポジウム

「携帯電話やインターネットをめぐるトラブルなど、生徒指導上の諸問題の解決に向けた取組」シンポジウムでは、各学校、教育委員会の立場から、ネットトラブルの未然防止に向けた取組等についてお話しいただき、「教育委員会や学校、家庭、地域が連携した取組」「児童生徒が主体的に考える取組」「携帯電話やインターネット利用のルールづくり」などが紹介されました。

コーディネーター
厚岸町教育委員会
指導室長 滝川 敦善 氏

シンポジスト
厚岸町立厚岸中学校
教頭 岩崎 等 氏

シンポジスト
釧路明輝高等学校
教諭 澤野 克也 氏

シンポジスト
釧路市教育委員会
総括指導主事 本川 敬一 氏

参加者の声

- ・情報化社会に生きる子どもたちにとって、スマートフォンやインターネットを「使わせないルールづくり」ではなく、いかに付き合うか、という視点での情報教育が求められていると考えた。
- ・保護者同士や子どもたちと話し合い、互いに理解し合うことが大切ではないかと考えた。

1日目 講演

講師
ピットクルー株式会社
広田 周平 氏

「携帯電話やインターネットをめぐるトラブルなど、生徒指導の今日的課題と対応について」講演では、具体的なトラブルの事例を基に、家庭や学校において求められる取組についてお話しいただきました。

参加者の声

- ・子どもたちのインターネットの使い方は、能動的であり、情報の共有・発信型であることが分かった。大人とは、使い方が違うことを理解する必要があると考えた。
- ・保護者の立場として、保護者間における情報モラルの意識差が気にかかった。より多くの保護者にこのような講演を聞いてもらいたい。

2日目 説明 演習

講師
帯広大谷短期大学
准教授 佐藤 英晶 氏

「児童生徒の問題行動等の未然防止や早期発見・早期対応に向けたカウンセリングスキルの習得など、実践的な教育相談の取組について」説明・演習では、基本的なカウンセリングスキルについてのお話や、児童生徒の「強み」を生かした取組について、お話をいただきました。

参加者の声

- ・専門的な正しい知識を多数知ることができ、とても有意義だった。教員としてカウンセリングスキルについて学ぶことが必要だと考えた。
- ・相談者の立場で教育相談について考えることができた。もっと聞きたいと思える話の内容だった。

2日目 実践発表

「いじめ、不登校の未然防止に向けた取組の充実に向けて」実践発表では、小、中、高、特別支援学校から、各学校における取組について実践を発表していただきました。

釧路町立富原小学校
教頭 高島 昌之 氏

標茶町立標茶中学校
教頭 佐藤 英樹 氏

北海道鶴野支援学校
教諭 齋藤 良二 氏

北海道釧路東高等学校
教諭 弥田 将人 氏

参加者の声

- ・学校組織における体制づくりが大切だと考えた。教職員間の連携の在り方について、捉え直したい。
- ・発表から、児童生徒が主体的に考える取組を推進する必要があると考えた。

終わりに 2日間の協議をとおして、「児童生徒が主体的に考える取組」や「学校、家庭、関係機関等が連携した取組」等の充実が大切であることを改めて確認するとともに、コミュニケーションの原点に立ち返り、親と子、教師と子どもとが関わり合い、話し合い、理解を深めることの大切さについて考えることができました。